

BBCoach Project Rubrics

創造力 (0 to One)	やり方も含めて、何も無い状態から、過去にはなかった新しいアイデアやものを生み出す力	A1 やり方のヒントがあれば、ある一定の状態のアイデアやものを、過去になかった状態に個人で生み出すことができる。	A2 やり方のヒントがあれば、ある一定の状態のアイデアやものを、過去になかった状態にチームで生み出すことができる。	B1 やり方のヒントがあれば、何も無い状態から、新しいアイデアやものを個人で生み出すことができる。	B2 やり方のヒントがあれば、何も無い状態から、新しいアイデアやものをチームで生み出すことができる。	C1 やり方も含めて、何も無い状態から、過去にはなかった新しいアイデアやものを個人で生み出すことができる。	C2 やり方も含めて、何も無い状態から、過去にはなかった新しいアイデアやものをチームで生み出すことができる。
探求力	答えのない課題に出あった時にも、あらたな目標を見つけて挑戦できる力	A1 他の人は既に経験済みで解を得ている課題で、かつ自分でもこれまで若干経験したことのある課題に対して、個人で目標を定めて挑戦することができる。	A2 他の人は既に経験済みで解を得ている課題で、かつ自分達でもこれまで若干経験したことのある課題に対して、チームで目標を定めて挑戦することができる。	B1 他の人は既に経験済みで解を得ている課題で、かつ自分ではこれまで経験したことのない課題に対して、個人で目標を定めて挑戦することができる。	B2 他の人は既に経験済みで解を得ている課題で、かつ自分達ではこれまで経験したことのない課題に対して、チームで目標を定めて挑戦することができる。	C1 他の人も、自分も経験したことのない課題に対して、あらたな目標を定めて、自ら挑戦できる。	C2 他の人も、自分も経験したことのない課題に対して、あらたな目標を定めて、チームで挑戦できる。
協働力	情報共有しながら活動を遂行できる力	A1 充分ではないが自分の作業報告を残すことは、大切な作業だと個人では意識はできる。プロジェクトの進行を妨げずに作業ができる。なんとなくみんなで協力できている。	A2 自分の作業報告をSNSや、電話、メール等を通じて残すことができる。プロジェクトは常にうまくいっている意識できる。チーム内の自分の力の位置づけができ、協力することができる。	B1 自分の作業報告をSNSや、電話、メール等を通じてチーム内の人が見える状態で残すことができる。プロジェクトには若干の問題点があると把握できる。チーム内の仲間の力を把握することができる。現状の作業の問題点を自分で把握できる。	B2 チーム内の全員に自分の作業状況が伝わるように心掛け、SNSや、電話、メール等を通じて報告ができる。プロジェクトの途中で予想外の問題が起きた時の問題解決の提案ができる。チーム内の仲間の力と自分の力を把握することができる。合わせることができる。現状のプロジェクトの問題点を把握してチームで共有することができる。	C1 チーム内での情報を、SNS、メール、電話、面談等を通して充分共有でき、整理することができる。プロジェクトの途中で予想外の問題が起きた時に、自分では問題解決しようと思うことができる。チーム内で自分の力を活用して他のメンバーに影響を与えることができる。作業の「改善」を少しだけけることができる。	C2 チーム内での情報を、SNS、メール、電話、面談等を通して充分共有でき、間違いなく伝える事ができる。プロジェクトの途中で予想外の問題が起きても、積極的にチームで問題解決に協力することができる。チーム内の仲間の力を充分引き出すことができる。常にプロジェクトの「改善」を心掛けて、チーム力を向上させることができる。
笑顔力	困難な協働作業でもいつでも楽しみながら活動できる力	A1 楽で単純な作業なら、個人で楽しみながら活動できる。	A2 楽で単純な作業なら、チームで楽しみながら活動できる。	B1 普通の作業は、だいたい個人で楽しみながら活動できる。	B2 普通の作業は、だいたいチームで楽しみながら活動できる。	C1 困難な協働作業であってもいつでも個人で楽しみながら活動できる。	C2 困難な協働作業であってもいつでもチームで楽しみながら活動できる。
可能性認識力	自分を信じて、未知の可能性を探索し続けることができる能力	A1 自信はないが、自分の中の何か可能性があること信じていることを、自分で認識することができる。	A2 自信はないが、自分の中の何か可能性があることを信じ、チームメンバーに充分アピールして認めさせることができる。	B1 自分を信じて、自分の中の既に知っているの可能性を伸ばし続け、自分で認識することができる。	B2 自分を信じて、自分の中の既に知っているの可能性を伸ばし続け、チームメンバーに充分アピールして認めさせることができる。	C1 自分を深く信じて、自分の中の未知の可能性を探索し続け、自分で納得し認識することができる。	C2 自分を深く信じて、自分の中の未知の可能性を探索し続け、チームメンバーに充分アピールして認めさせることができる。